



二 挨拶

日ごろのご支援・ご協力に感謝申し上げます。今年のご支度は「乙未」です。きのとひつじの年は、去年からの持ち越しの旧習を打破して新たに着々と開発に努力しなければならぬと情勢を暗示しています。

市民の暮らしに今、何が必要で行政は何を行うのかの思いで平成十五年に成田市議会議員になり、この度の改選を迎え、心新たに今までの経験を生かし「自己に生きること他に尽くすこと」を師の教えとし、これからは議員の在るべき姿を求めて政治活動を行ってまいります。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

成田市議会議員 **神崎利一**

議員定数を削減する発議案否決

九月議会で発議案（政友クラブと公明党より提出）議員定数の削減が否決されました。（賛成12・反対16・退席1）

この議会改革の特別委員会が定数の問題も協議する中で定数削減ありきだけでなく、報酬も考えたり成田市の財政やこれからの事業計画や空港問題を考えたときに、公明党だけでなく他の党派（特に政友クラブを離れた）の議員を交え意見交換などもすべきと何度か会長にも要望をしていたが、一部の会派の議員に押し切られ発議案の提出に至ったとの報告でした。全議員に直接係わる問題にもかかわらず政友クラブと公明党だけで決めてしまったことに納得できませんでした。

私はこの時、今後大変なことが起きる旨を進言いたし、一連の騒動の始まりになりました。※その後議会運営の最高規範となる条例で、市民に対し、議会の役割や議会と市民との

関係、議会と市長との関係などを明示し、議会の在るべき姿や責務を定め、市民に信頼される議会運営を目指すことを明文化するとして、成田市議会基本条例を12月定例会最終日の本会議において全会一致で制定され27年4月1日より施行されます。

私もこの間議会改革特別委員として、条例制定に10回の委員会や先進自治体への視察やパブリックコメントそして市民との意見交換会にも参画してまいりました。



27年3月議会質問要綱

空港周辺の道路整備について

●質問 圏央道が5月までに大栄ジャンクションまでつながり、その先県道成田小見川鹿嶋港にインターチェンジができて（設置予定箇所付近にはグリーンウォーターパーク拡張が進む）鹿嶋港線の4車線化が、完成すればインターチェンジより空港への乗り入れも多くなり、ゲート周辺の混雑も予想されます。空港東側には第3滑走路建設の話も持ち上がっているなかでどのような道路整備を考えているか。

○答弁 県成田小見川鹿嶋港線は空港への重要なアクセス道路あり、インターチェンジ設置に伴い交通量の増加が懸念され、周辺市道については、圏央道の延伸と県道成田小見川鹿嶋港線の4車線化の進捗にあわせ、関係機関と調整を図り必要な整備を図っていきます。

グリーンウォーターパークへの進入路は県道横芝下総線より進入となり、改良事業をはじめ、延長約300メートルで車道幅六メートル、歩道幅2、5メートルを計画測量設計、用地交渉に着手します。

成田市の水道について

●質問 未普及地域は、人口が少なく世帯数も少ない、騒音地域が多い、その地域への水道の給水と、押畑地区の一部への給水についてお尋ねいたします。

○答弁 事業の採算性が必ずしも確保できない地域が多いと想定され、水道事業は地方公営企業として独立採算制により効率的堅実な事業経営が求められている。今後は第8次拡張事業のなかで未普及地域の解消に務めていきます。

押畑地区の整備については、現在北千葉道路の工事に伴い国道408号線の4車線拡幅工事の進捗状況にあわせ両側の歩道に配水管を布設後に寝水需要に応じ進めていきます。

成田ケーブルテレビの今後のエリア拡大について

●質問 隣の佐倉市の放送局は他市にも放映されているが、成田市の未整備エリア（公津・八生・中郷・久住・豊住・遠山の一部・下総）への拡大はどうか。空港へ延伸し観光案内で外国人の市内への回遊に活用できないか。

○答弁 今後放送提供エリア拡大については、成田ケーブルテレビでは、加入希望世帯数の調査や整備費用など採算性を考慮し整備していく、現時点ではエリアの拡大を考慮していない。

空港への延伸は、設備費用が高額で見送った事もある。観光客を対象とした観光情報については、成田ケーブルテレビの放送としては難しいとの事。



平成27年度予算委員会審議

平成27年度予算特別委員会

平成27年3月2日から4日まで
予算質疑 一般会計611億円そして
特別会計286億円
総額約897億円を審査

認知症について

●質問 認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上の4人に1人はその症状があるといわれ、原因でうつ状態になり、記憶障害や理解、判断力の低下などもあり、成田市の現状はどの位いるのか認知症対策の施設について、国家戦略「新オレンジプラン」を政府は正式決定したが成田市の今後の対応は。

○答弁 要支援、要介護認定者3620名のうち55パーセントが認知症の症状。グループホームは8施設。認知症対応型デイサービス6施設で全体としては定員に余裕がある。認知症に関わる医療・介護・福祉専門知識などが連携して、認知症の早期発見・早期診断・早期対応を行う認知症初期集中支援推進事業や認知症の方が適切な医療や介護サービスを受ける認知症ケアパスの作成の普及に取り組む。

平成27年度要望提出

- 市有財産の跡地利用(地域への再利用)の有効活用。(学校跡地や旧老人福祉センターなど有効利用)
- 空港周辺の土地利用(未利用地や空港会社の空港周辺の土地を利用して集客)
- LED化への促進(リースを活用するなど全域交換で電気代の節約)
- 騒音地域にケーブルテレビ網の拡充
- 通学路等歩道の整備(特に空港周辺)(AランBランの狭間における中学生の自転車通学の安全対策)
- トランジット客の地域観光促進(市内への回遊)

公津スポーツ広場に続き旧老人福祉センター跡地も無償。無償貸与? 地元の声も聞くべき!!

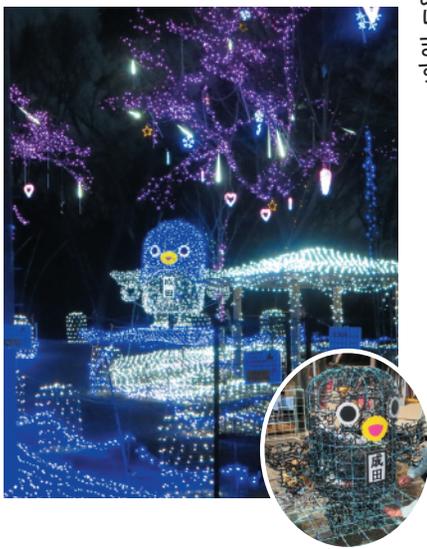
旧老人福祉センター跡地の活用問題を取り上げ、執行部の考え方を糾した。これに対し小泉市長は「旧老人福祉センター跡地は国際医療福祉大学のグランドとして活用する方向で大学と協議している」と答弁、この答弁に対し「この土地は公津地区に残された閑静な大きな土地だから旧公津地区の住民の声を聞くべき」と跡地利用計画に不満を露わにすると執行部は「大学との協議は整った後に説明する」と高飛車な態度。大学用グランドとしては既に公津スポーツ広場だけでは対応できず約一万㎡の旧老人福祉センター跡地を第二グランドとして無償貸与を成田市が大学に申し入れ、昨年12月から協議に入り大学の判断待ちの状態にある。



さくらの山に地元産品を販売できないか、議会などで質問や要望を何度も試みたが叶わず、地道にコンテナ販売を続けられ、この度の、条例変更で観光情報の発信を兼ねた物産館が、新たなネーミング「空の駅さくら館」として開館する運びとなり、今まで販売を手がけてこられた地元の方々に、指定管理者として議会にて全議員で可決されました。



年間約40万人の方々は今、うなり君のイルミネーションやこいのぼりの見学にも訪れています。こんな事もありました。イルミネーションの制作にあたって、初めは廃材を売却して行政の支援を受けず製作費に充てたことを看板で初めて知り感動を受けたとの電話でした。
お話をしていると、地元の出身で、年金暮らしで、私よりも一歳年上のご婦人でした。皆さんの熱意に協力したいとの申し入れでした。私も快く受けました。今では何人かの来場者の方からも協力の申し入れもあります。



「さくらの山うなりくんイルミネーション」は先の東日本大震災後、さくらの山にこいのぼりをおよがせ子供達の成長祈願、東日本大震災の早期復興祈願、空港の航空安全を願いたいとお話をしたのが始まりでした。

こいのぼり同様に再利用可能な品々を用いて、成田市ゆるキャラ『うなりくん』のイルミネーションを作成し、今回は色々な方々の協力をえて、古紙、電線などの有価物を換金したお金などを持ちより、さらにバージョンアップした「うなりくんイルミネーション」を製作しました。

被災地である陸前高田市へ被災見舞いへ行き、まだまだ復興に時間がかかる状況を実際に目にし、自分達には、今、何が出来るのだろうか、何をすればよいのだろうか、そんな想いを抱かずにはいられません。

微力な私達ですが、被災地陸前高田市へ向かう車中に流れた東日本大震災復興支援ソング『花は咲く』の曲に合わせてイルミネーションを点灯させました。「さくらの山うなりくんイルミネーション」を観に来て下さった皆様、時は流れていってしまいますけど、東日本大震災早期復興を応援してください。さくらの山活性化協議会代表

さくらの山イベントボランティア有志一同

社長表敬訪問

NAA夏目社長との会談にて 地元へのおもいを聞く

- 弊社取得済み用地だけでは実現が困難であったため、取香区の皆様方のご協力に感謝する。
- 取香区の表通りに空港がせり出してくることとなるため、取香区の皆様にはいろいろご負担をお掛けすることとなる。
- 今後の成田空港の成長、発展のためには、非常に重要な施設整備であるため、引き続きご支援とご理解をお願いするとともに、良き隣人として今後も末長くお付き合いしていきたいと考えている。
- 取香区の方々の住環境に最大限の配慮を行っていきたくと考えているところ。
- 今回整備する防音壁や歩行者用通路などの環境整備、付け替えが必要となる成田市道の詳細については、今後よくご相談させて頂きながら決定していきたい。

LCCスポット増設《4月8日オープン》

2014年度末の完成に向けてLCC専用ターミナルの整備を鋭意実施中。LCCの更なる利便性の向上及び効率的な運用のためには、現計画（サテライト南側5スポットにて運用）に加え、新たに、第2PTBサテライトと同様にサテライト北側（成田市取香地区側、5スポット）も運用するサテライト両面運用を行うことが望ましいと考えた。

- 取香LCCスポット整備については、1月31日に国交省に航空法に基づく空港の変更許可申請を行い、4月14日に公聴会が行われ4月25日に許可を得ました。
- 本件整備に際しては、①空港境界に防音壁の整備、②廃止する赤道の代替として防音壁沿いに歩行者通路の整備、③成田市道の付替等を行わなければならない。
- 取香区説明において、整備する防音壁の仕様について「航空機が見えるように」という要望を出します。
- 区は、本件整備に対する対応及び取香の住みよい街づくり等のために、区民の意見を集約・整理し、関係機関（NAA、成田市等）と協議を行う組織（協議会）を立ち上げました。



凡 例	
	現制限区域
	新制限区域
	赤道
	GSE置場